


## 気象コラム(3)

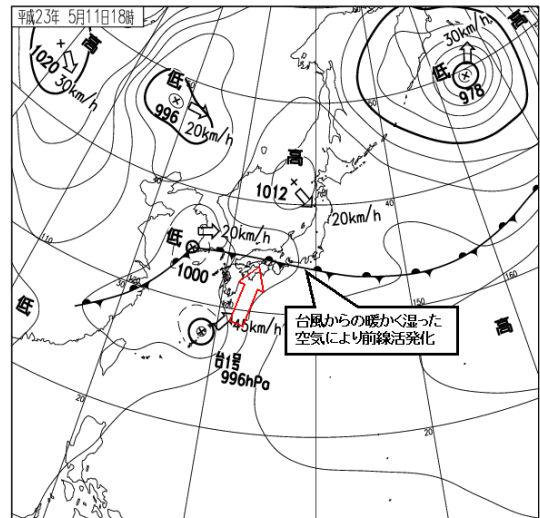
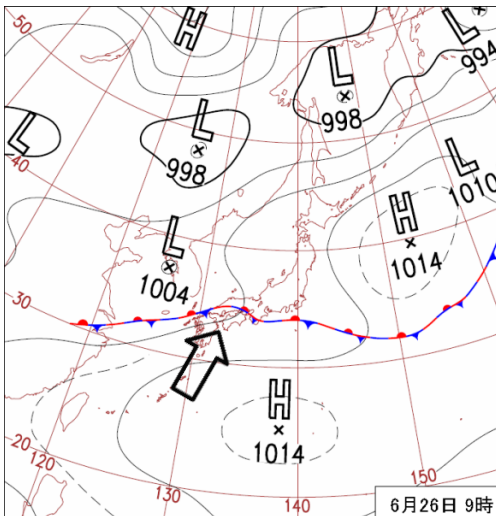
6月になり近畿地方にも梅雨の季節がやってきました。  
今月は梅雨の天気図についてお話します。

梅雨の時期に雨を降らせる「梅雨前線」は、前線の種類で言うと「停滞前線」であることが多く、天気図上では  のように表示されます。

梅雨の時期になるとこの前線が日本付近に横たわり、日々位置を変えたり形を変えたりします。そして、前線が次のような状態のときは大雨に注意が必要です。

事例1. 前線が上（北）に向かって盛り上がっているとき（左図）

この盛り上がった部分には下（南）から暖かい湿った空気が送り込まれています。  
この天気図のときは、九州から中国地方にかけて大雨でした。



事例2. 前線の下（南）に台風があるとき（右図）

台風は左回りの渦であるため、台風の右側では南風が吹いています。この風に乗って暖かく湿った空気が前線へと供給され、前線の活動が活発になります。

一方、梅雨といってもずっと雨の日ばかりが続くわけではなく、晴れの日もあります。例えば、前線が下（南）に向かって湾曲している部分では比較的天気が良いことが多いです。梅雨の晴れ間をうまくとらえて、楽しく安全な山行を計画してください。

(高田和孝/H.C.teruru)